

建交労大阪府本部 機関紙



発行元 府本部
電話 06-4800-7115

第96回大阪メーデーに

建交労大阪も結集

第96回大阪メーデーは、5月1日（木）扇町公園で開催され、全体で2,000名が参加しました。

建交労大阪からは、関西支部8名、大阪合同支部9名、此花支部6名、神田支部5名、大阪鉄道本部2名、関西ダンプロ支部2名、関西合同支部1名が参加。今年は、「働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義中立の日本をめざそう」をスローガンに、横断幕・組合旗・のぼりを掲



げて大阪市内の2コースでデモ行進しました。扇町公園で行われた集会では、主催者を代表して、大阪労連・福岡泰治実行委員長があいさつ。福岡実行委員長は、アメリカ・大企業優遇で暮らし・平和を顧みない石破政権と万博・カジノを強行した住民切り捨ての維

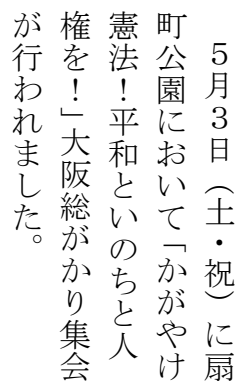
扇町公園で集会

新政治を批判。「8時間働けば人間らしく暮らせる職場と社会、憲法をいかす政治の実現へ。危険な夢洲での万博とカジノは中止を」と訴えました。その後、被爆された被爆者の発言と労働組合から大教組が決意表明。デモ行進は天満コースと中崎町コース（建交労大阪）に分かれて行進しました。また、建交労から宣伝カー2台、運転手3名（大阪労連宣伝カー運転手を含む）アナウンス1名、会場警備2名が任務につきました。

建交労フェスタIN広島

6月6日～8日(金・土・日)





全体の参加者は、主催者発表で3,500人。建交労大阪からは、関西支部26人、大阪合同支部4名、関西ダンブ支部

かがやけ憲法集会へ
建交労大阪の組合員が結集

扇町公園に結集する建交労大阪

2名、此花支部1名が参加。集会では、長崎大学核兵器廃絶研究センター・中村桂子准教授が「被爆80年、核のタブーの原点に立ち返る」と題して特別スピーチ。「被爆国として平和憲法を誇る国として『核兵器廃絶こそが人類を救う道』だ」という強い信念で対話を続けよう」と訴えました。政党からは、日本共産党、立憲民主党、社民党、れいわ新撰組の代表がいさつ。戦争させない1,000人委員会大阪・米田彰男共同代表、大阪憲法会議・丹羽徹幹事長があいさつし、市民がスピーチしました。集会の最後には、「とめよう大軍拡」「いかそう憲法」のポテツカーを掲げてアピールしました。集会後は、天満コースと中崎町コースに分かれてデモを行い、建交労大阪は、中崎町コースに結集してデモに参加しました。

[illegible]

大阪労連民間部会が岬町で

一泊学習交流会を開催

大阪労連民間部会は、5月16日・17日（金・土）淡輪ハウスにおいて一泊学習交流会を開催しました。一泊学習交流会で開会挨拶と司会進行を務めたのは、久保田副部長（全

港湾阪神支部書記長。主催者を代表して荻田部会長（建交労大阪府本部書記長）があいさつ。荻田部会長は、「25春闘も大方で終結したのではないか・組合員から春闘の賃



大阪労連民間部会・荻田部会長

上げで生活が楽になったという声は殆ど聞こえてこなかったのではないだろうか。」と問いかけ「大企業では物価高騰を上回る賃上げを実現した所もありましたが、大阪労連の各組織内では中小企業で組織しているところが大半で物価高騰を上回る賃上げにはならず、依然として厳しい暮らしが続く。つまり、中小企業には大幅な賃上げが出来る体

力がないのが現状で、政府が中小企業に賃上げ出来る支援金を出さなければならぬ。全労連をはじめ、大阪労連も運動方針に掲げる中小企業が対策が粘り強く訴え続けた結果、石破政権でも5年間で60兆円を中小企業の支援に回す予算を組むとまで言い出している。労働組合は経済闘争と政治闘争を結合した運動が



岬町・淡輪ハウス研修所

必要であり、声を上げなければ何も変わらない。これからも粘り強く声を上げ、政治を変えていこう。」と呼びかけました。その後、川辺和宏・元大阪労連議長を講師にお招きして「民間部会の歴史」について約1時間学習しました。学習会は、民間労組と公務労組の違いを基本に説明されたうえで、民間部会が闘ってきた争議について詳しく解説していただきました。感想としては、「先人の諸先輩が闘い続けた歴史を現役世代が引継ぎ、世代継承していかねければならないと感じました。全体の参加者は21名。建交労大阪から2名が参加しました。休憩後は、各組織の25春闘の総括について報告がありました。建交労大阪からは、荻田書記長が25春闘の平均妥結額・要求提出率や春闘での課題、組織拡大、学習会の開催などを報告しました。

大阪府本部2025年春闘の中間結果と課題

大阪府本部全体の回答状況では、全体支部分会数53職場、対象職場数39職場、要求提出33職場、要求提出率84、6%、有額回答数は35職場・妥結率は64、1%という状況になっています。

妥結平均額は4、485円で前年実績の6、406円より1、921円減額になっています。

回答状況は、前年実績を上回ったのは12職場・分会で、うちトラック関係7職場、生コン1職場、バス2職場、鉄道1職場、一般1職場になっています。

昨年実績と同額は、トラック3職場、一般2職場という結果になりました。

昨年実績を下回ったのは、一般1職場、トラック4職場、酸素1職場、生コン5職場、バス1職場という結果になっています。

特徴的なところは、中小零細企業では昨年実績を下回る職場が多く大幅な賃上げが出来る体力がないと考えられます。また、ゼロ回答という職場もありました。

大阪府本部25春闘での最高賃上げ額は、鉄道の1万9、293円で、政府が経財界に要望した賃上げは、大企業だけが実現した一方で、中小企業に恩恵を受けることにはなりません。

また、要求提出状況は昨年実績を下回り、全職場の要求提出が実現出来ませんでした。要求提出が出来なかった職場は、対象外の報告もれなのか、もしくは消滅した職場であるにもかかわらず、府本部へ報告出来ていなかったのか、支部役員が直接職場に入り、原因究明したうえで対策を講じることが必要です。

次年度については、全職場で春闘・夏期一時金の要求提出が出来る対策と体制づくりに取り組む必要があります。

業種別回答平均額は下記のとおりになっています。

業種別春闘回答状況（関西急送パートは1日5時間労働×22日出勤で計算）

	業種	組織数	単位数	対象外	回答数	平均回答額
*トラック	24	19	5	16	15	3,814 円
*酸素	3	3	0	3	3	4,333 円
*バス	4	4	0	4	4	8,182 円
*鉄道	1	1	0	1	1	19,293 円
*建設	5	2	3	0	2	4,833 円
*セメント・生コン	10	7	3	0	3	500 円
*一般・パート	5	5	0	0	2	2,860 円
*ダンプ	3	1	2	1	1	8,500 円

生コン・バラセメントは個社で交渉中